

新潟県

公民館月報

昭和54年7月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟（0252）24-0073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 専務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共・年価 840円】



石井 耕一
 画

モモ

「モモ」は桃李科の植物で、原産地はベルシャ地方とか、中国の華北とかいわれている。日本には中国より渡来してきたものであるが、明治初期に欧米および中国より優良品種が導入されたから急速に栽培が増加した。木県での栽培起源ははっきりしていないが、白根市新飯田地方では文化年間（一八〇四～一八一七年）には「ナン」と盛衰を交代していたといわれ、繁殖は実生にたよっていたといわれる。

県内の栽培面積は約四〇〇ヘクタール、生産量は約五、三〇〇トンと少ない。ほとんど生食用で県内の需要は満たしておらず、早生系を中心に県外から入荷されている。

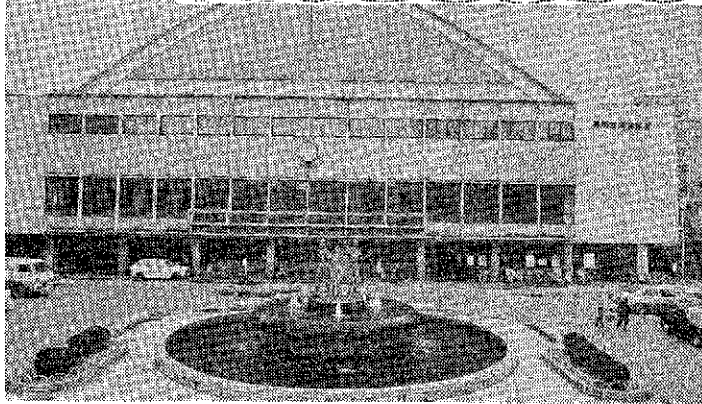
主産地は白根市、加茂市、三条市、田上町、中之口村などで、栽培面積は年々減少の傾向にある。

主な品種は、砂子早生、倉方早生、白鳳、大久保、白桃系である。大久保は本県を中心品種で熟期は8月中旬、豊産性で品質は良い。白鳳はやや小果であるが品質は極上である。白鳳には多くの系統があり、「日の出」と称されているものも、その一系統である。

本県においては、7月収穫できる「うまい品種」の出現が期待されている。

〔文・新潟県大百科事典・新潟県年鑑による〕
 絵・小柳耕司（一水会々員）

第30回新潟県公民館大会を迎えて



会場となる長岡市厚生会館

結実への期待と提案と

備準委員会のめざしたもの

ことしは社会教育法三十周年という記念すべき年にあたり、新潟県公民館大会もまた三十回を数え、きたる八月二十七日、長岡市厚生会館を会場に、第三十回新潟県公民館大会が開催される。

この大会を主管する中越地区公民館連絡協議会と長岡市中央公民館では、この記念すべき大会を成功させるため、昨年以來、準備委員会を設けて、いくたびか

会議をかさねて地元案をまとめ、県公民館連合会に積極的に提案をしてきたが、先般の県公民館連合会と評議員会でこの地元案が全面的に承認されて、この一文が県公民館月報に掲載される頃には、大会案内状が全県下の公民館に届けられていることと思われる。

地元案の作成に参画した準備委員のひとりとして、地元案作成の経過と大会への期待・提案を卒直に記してみたいと思うのである。

大会要項の地元案を作成する準備委員会では、論議されたおもな項目と内容は次のようなものである。

このたびの大会については、社会教育法施行二十周年、そして三十回という記念すべき節目の大会にあたるので、(1)の振興大会的性格にウエイトを置きながら、公民館の将来の展望を県下公民館関係者が、ともに見定める大会にしようということとなった。

自治振興に果たす公民館の役割が取り上げられてきたという経過を踏まえて、公民館の将来を展望するにふさわしい主題をどうして検討がかわらぬか、全国公民館連合会の専門委員会の「公民館のあるべき姿と今日の指標」に示された。

公民館活動の究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。住民の自治能力の向上に果たす公民館の役割

住民に開かれた記念大会

一、大会の性格

従来の県大会は、一昨年来の全国大会と同じく(1)公民館の歴史を振り返るため、(2)公民館の現状を研究する性格と、(3)県下公民館関係者の連帯を促す性格として

このたびの大会は、前述のように記念すべき節目の大会であることから考え、従来の大会の上記の役割が、さらに近年、新潟市で開かれた第二十六回全国公民館大会でも継承され、さらに昨年の上越市での県大会では「生涯教育」という点を反省し、公民館のあ

二、大会主題

従来の県大会は、一昨年来の全国大会と同じく(1)公民館の歴史を振り返るため、(2)公民館の現状を研究する性格と、(3)県下公民館関係者の連帯を促す性格として

このたびの大会は、前述のように記念すべき節目の大会であることから考え、従来の大会の上記の役割が、さらに近年、新潟市で開かれた第二十六回全国公民館大会でも継承され、さらに昨年の上越市での県大会では「生涯教育」という点を反省し、公民館のあ

三、大会の特色

このたびの大会は、前述のように記念すべき節目の大会であることから考え、従来の大会の上記の役割が、さらに近年、新潟市で開かれた第二十六回全国公民館大会でも継承され、さらに昨年の上越市での県大会では「生涯教育」という点を反省し、公民館のあ

このたびの大会は、前述のように記念すべき節目の大会であることから考え、従来の大会の上記の役割が、さらに近年、新潟市で開かれた第二十六回全国公民館大会でも継承され、さらに昨年の上越市での県大会では「生涯教育」という点を反省し、公民館のあ

四、大会への期待

ことし岐阜で行われる第二回全

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内 容
教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。
A5判34ページ 1部 250円(送料実費)

◎お申し込み先
〒951 新潟市川崎町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073



国民館研究集會では、社会教育法の一部改正が本格的に計議されることとなり、本県公連連の前期に開かれる県プロ大会を社会教育法の一部改正についての提案をしなければならぬことになっていくという。

「その女生徒は、しみじみしく、勉強もできるきれいな子だったけれど、結核におかされてねえ」
同僚のF知事は、しみじみした調子でいった。時は昭和二十七年、所はある農村の中学校の宿直室である。教員になったばかりの私の、初めての宿直の晩であった。「どうして死んでしまったが、最後まで頑張った。」「学校へ行きたい。」「勉強したい。」「泣きながら、涙をこぼしていた。だからこんな死にはしたくない。」「宿直室に、

このための大会は一日大会で、参加者が一同に会するのは僅か一日間だけである。
この僅か一日間の大会を充実し、大盛況のものとするためには、大会三日の主権者をはじめ全参加者の努力と協力がなければならぬ。それが、同時に大会前の市町村や地区における事前研修と、大会後における事後研修がともなわなければならないと思うのである。

五、大会への提案

人数は旅費等の制約もあって、ごく一部の代表者だけに限らざるを得ないと思うが、各市町村、各公民館の関係者による事前研修によって、大会当日の計議における参加者の発言を裏打ちのある充実したものにするとともに、大会後における大会参加者を中心とする市町村の全公民館関係者による事後研修によって、大会の成果をより高く、高めることができるのではないだろうか。
大会の成否は一同が会した時間大会の成果は参加者だけのものではないのでない。また、大会の成果は参加者だけのものではないのでない。また、大会の成果は参加者だけのものではないのでない。また、大会の成果は参加者だけのものではないのでない。



宿直室公民館

笠原 誠

どって、教室の机を倒すんだ。じゃ、しっかりとやりますよ。」「先生はあかして痛くない。」「あ、いい気持ちではなかった。ところが夜中に、ガタンという大きな音が本音した。一瞬、血が凍ったが、勇ましく行ってやる。」「非常口のどひらが肩に当たる。」「きかないはきかない。」「

県下の各公民館あるいは市町村ごと、少年なども一回以上の事前研修と事後研修を実施すること提案したいのである。
公民館建設に対する国庫補助金の急速な伸びとともに、公民館の施設整備もまた急速に進みつつある。一方では社会教育法改正の気運も急速に高まり、改正案への希望を具体的に明確にしなければならぬ。今後の課題は、共通の理念に基づいた長期的展望に立った着実な運営と活動の充実である。

むすび

青年団大会が近くなると、暗いグラウンドでスタートの指導をしたり、運動会が近づくにつれて行歌の指導もした。
「ゆうれいぐでかおかし」
先生の宿直の晩も、青年が押しかけるし、F先生やF先生の時も多かった。
「まるで公民館だな」
校長さんがいったが、別にやめるとはいわなかった。
また社会教育を知らなかった私は、その時公民館を知らなかった。
何年かあとに公民館を見て、なるほどと思った。そしてまた「あ、あの時の宿直室の方が活気があったな」と思った。
(県庁職員F(フリー)次長)

募集 (絵紙表紙)

本紙の表紙をかざる絵を送ってください。公民館の絵画教室での傑作、利用グループの中で絵をよくする人の作品など、なるべく多量に書かれたものを期待していただきます。
絵の内容は「名勝、旧跡、文化財」などのほか、表紙にかきわけるものであればなんでも結構です。
説明文は四百字程度でお願いします。
(相崎市中央公民館 事務局長 徳岡夫記)

石井新一メモ ⑨



戦後のノンフィクションの最高傑作といわれる「あゝ野麦峠」が映画化された。朝日新聞社から初刊本が出て十一年経ち、いま角川の文庫本が売れている。
私がかつこの本に関心をもち、著者の山本茂実さんとが私と同じ財団法人日本青年協会の会員だからである。
この協会はまだ知られていないが、昭和三年に結成された。全国の中堅青年養成団体として、文部省の助成を受けている。私は昭和四年に二月月の山笠青年協会の参加した。講習の第一回生で、山本さんは十四回生である。山本さんは当時松本市で農業に従事し、従軍もし、戦後皇國大を出て作家になった。
「あゝ野麦峠」は結婚を論議することなく、むすびやかな乙女の青春を描写しながら、日本近代化の歴史を語っている。近來にない名画といえるべきである。(著者は本会会長、日本青年協会新潟県支部長)

この大会で提起された問題点がこれからのあらゆる集會などでさらに具体的な検討がかけられ、県下の公民館でその推進や活動をしていくことこそ、このたびの大会を名実ともに記念すべき大会とするのではないだろうか。
これは「公民館活動実践記録集」の刊行と、実践記録の募集も行われている。
住民とともに振む公民館の活動を実践記録が、全県下の公民館から多数寄せられることを心から期待してやまない。
戦後のノンフィクションの最高傑作といわれる「あゝ野麦峠」が映画化された。朝日新聞社から初刊本が出て十一年経ち、いま角川の文庫本が売れている。
私がかつこの本に関心をもち、著者の山本茂実さんとが私と同じ財団法人日本青年協会の会員だからである。
この協会はまだ知られていないが、昭和三年に結成された。全国の中堅青年養成団体として、文部省の助成を受けている。私は昭和四年に二月月の山笠青年協会の参加した。講習の第一回生で、山本さんは十四回生である。山本さんは当時松本市で農業に従事し、従軍もし、戦後皇國大を出て作家になった。
「あゝ野麦峠」は結婚を論議することなく、むすびやかな乙女の青春を描写しながら、日本近代化の歴史を語っている。近來にない名画といえるべきである。(著者は本会会長、日本青年協会新潟県支部長)

昭和54年度新潟県公民館一覽

[県公連調べ]

この一覽表は、社教法施行30周年を記念して全公連が作成する「全国公民館名鑑」の登載原稿を準用し調製した。一部原稿未着の公民館については、昭和54年5月1日現在の新潟県公民館概覽を参考にするとともに、電話等で問い合わせたうえ記載した。

公民館については、昭和54年5月1日現在の新潟県公民館概覽を参考にするとともに、電話等で問い合わせたうえ記載した。

記入欄の凡例

館長名 氏名の頭に○のあるものは常勤、下段の氏名は常勤の代表職員。
 職員数 上段は職員の総数。下段の()内はそのうちの常勤職員数。
 施設 Rは鉄筋コンクリート。Sは鉄骨造り。Wは木造。延面積数は平方メートル。建築年度は完成の昭和年度。

分館数 対象区域内にある分館総数()内はそのうち設置条例にある分館。
 公振連加盟 ○は公民館振興市町村長連盟加盟済。
 公民館月報 数字は購読部数。
 月刊公民館 ○は一部以上購読。
 総合保険 ○は公民館総合補償制度加盟済。

公民館名 「公民館」 省 略	〒 所 在 地	電 話 番 号	館 長 名	職 員 常 勤 員 数 ()	施 設			分館数	公加 振連盟	公月 民館報	月公 民館	総保 合險
					構造	延面積	建築年度					
新潟市中央	〒951 新潟市西堀通6-873-1	(0252) 23-7070	○鶴巻 鐵三	12 (12)	S	2,225	48	18 (18)	○	110	○	×
長岡市中央	〒940 長岡市柳原町2-1	(0258) 32-0437	○青柳 隆	12 (8)	R	1,118	30	20 (20)	○	100	○	×
上越市中央	〒942 上越市西本町4-17-5	(0255) 43-2859	○藤井 秀朗	4 (4)	R	1,229		14 (14)	○	80		×
高田地区	〒943 " 寺町21-6-21	(0255) 24-3106	"	10 (10)	W	319	大正元				○	
直江津区	〒942 " 西本町4-17-5	(0255) 43-2859	"	8 (8)	R	1,229					○	
柏崎市中央	〒945 柏崎市諏訪町6-6	(02572) 2-2637	○丸田 昭三	11 (8)	R	1,087	47		○	80	○	×
比 角	〒945 " 比角2-9-47	(02572) 4-7487	阿部 健一	2 (0)	R~S	864	54				×	×
枇 杷 島	〒945 " 宮場町12-8	(02572) 4-7449	佐々木 正縁	2 ()	R~S	866	54				×	×
大 洲	〒945 " 大久保2-10-13	(02572) 2-2330	深田 信四郎	2 ()	W	132	15				×	×
鯨 波	〒945 " 鯨波2-4-62	(02572) 3-9345	高橋 忠夫	2 ()	W	225	47				×	×
西中通	〒945 " 橋場町15-6	(02572) 4-3728	品川 久	2 ()	R~S	775	51				×	×
荒 浜	〒945 " 荒浜3-7-14	(02572) 2-3702	品田 充	2 ()	W	595	34				×	×
田 尻	〒945-13 " 安田1413-1	(02572) 2-4301	片桐 久夫	2 ()	R~S	765	53				×	×
北 鯨 石	〒945-01 " 中田2295-1	(02572) 4-4549	阿部 七郎	2 ()	R~W	1,143	53				×	×
高 庄	〒945-11 " 新道3083-1	(02572) 2-4401	箕輪 忠尚	2 ()	W	469	17				×	×
中 通	〒945-02 " 曾地1630-2	(02572) 8-2002	大高 一男	2 ()	R	47	23				×	×
米 山	〒949-36 " 米山町2520-1	(02572) 6-8295	中山 雅一	2 ()	W	53	45				×	×
高 浜	〒945-04 " 虹川2299-1	(02572) 5-2002	品田 直治	2 ()	W	252	28				×	×
上 条	〒945-11 " 宮之窪5990-1	(02572) 9-2400	葉賀 辰男	2 ()	W	100	7				×	×
中 鯨 石	〒945-14 " 加納2564-1	(02572) 7-2102	植木 専一	2 ()	S~W	649	48				×	×

公民館名 〔公民館〕 省 略	〒 所 在 地	電 話 番 号	館 長 名	職 員 常勤 員数	施 設			分館 数	公加 振連 盟	公月 民館 報	月 刊 報	總保 合除
					構造	延面積	建築 年度					
柏崎 市 南 石	〒945-14 柏崎市山室2931-1	(02572) 7-2002	本間 重利	(2)	R-S	682	50				×	×
上 米 山	〒945 " 谷根3232-3	(02572) 6-2516	轟 徳知	(2)	W	261	46				×	×
黒 " 姫	〒945-12 " 野田853-1	(02572) 9-2001	永滝 良雄	(2)	W	86	36				×	×
北 " 条	〒949-37 " 大広田93-1	(02572) 5-3355	持田 信	(2)	R~S	748	51				×	×
松 " 波	〒945-03 " 松波 2-17-3	(02572) 2-4352	品田 幸司郎	(2)	R~S	761	52				×	×
鶉 " 川	〒945-12 " 女谷4760-1	(02572) 9-2411	高橋 長究	(2)	R	444	53				×	×
半 " 田	〒945 " 半田141	(02572) 4-6150	関 雄	(2)	R	68	53				×	×
三 中 市 央	〒955 三条市大字三条字△号 990	(02563) 2-0908	○木村 狷介	(4) (4)	W	1,058	10	1	○	72	×	×
井 " 栗	〒955 " 大字下谷地159	(02563) 8-3835	阿久津 琢了 佐藤 日出丸	(3) (2)	R	336	47	(1)			×	×
本 " 成 寺	〒955 " 大字片口字割前 345	(02563) 3-0152	坂井 寅市 内山 英昭	(3) (2)	R	336	48	(1)			×	×
大 " 崎	〒955 " 大字東大崎字桐岡 20-1	(02563) 8-2175	榊岩 静雄 本 直久	(3) (2)	R	403	50	(1)			×	×
大 " 島	〒955 " 大字大島字絞面内 畑5002	(02563) 3-0097	小野 甚一 清水 昭太郎	(3) (2)	R	336	51	(1)			×	×
新 発 田 市	〒957 新発田市中央町 5-4-7	(02542) 3-3450	○川 又 秀夫	(7) (7)	RC	1,404	54	(9)	×	50	○	×
新 津 市	〒956 新津市経島2009	(02504) 2-9666	○藤田 十一郎	(11) (11)	R	1,294	49		○	75	○	
小 千 谷 市	〒947 小千谷市大字土川94-3	(02588) 2-9111	五十嵐 秀太郎 清水 京太郎	(6) (4)	R	3,033	48	(30)	○	80	○	×
片 " 貝	〒947-01 " 片貝町6836-7	(02588) 4-2026	五十嵐 秀太郎 大矢 幹雄	(3) (1)	R	365	41	(1)			×	×
東 " 山	〒947-02 " 大字南荷頃 2666-1	(025859) 3334	五十嵐 秀太郎 山岸 明夫	(2) (1)	R	413	53	(3)			×	×
加 茂 市	〒959-13 加茂市大字加茂229-1	(02565) 2-0080	○樋口 成次	(3) (3)	R	233	39	(5)	○	90	○	×
十 日 町 市	〒948 十日町市辰甲730-1	(02575) 7-5011	○田村 達夫	17 (16)	R	3,060	46	(36)	×	62	○	○
見 附 市 央	〒954 見附市本町 1-4-41	(02586) 2-1058	徳橋 新次 高木 正	(6) (5)	W	400	大正12		○	72	○	×
北 " 谷	〒954 " 名木野町5329-2	(02586) 2-1058	大浦 政義 村上 正一	(2) (1)	-	-	-	-			○	×
葛 " 卷	〒954 " 葛巻 1-1-12	(02586) 2-0222	菊地 重作 木津 庄吉	(2) (1)	R	53	42				○	×
新 " 潟	〒954 " 新潟町2458-1	(02586) 2-2305	平尾 鶴衛 金子 馨	(2) (1)	W	415	33				○	×
上 " 北 谷	〒954 " 神保町277-1	(02586) 2-0965	小齋 恭二 林 新一	(2) (1)	-	-	-	-			○	×
今 " 町	〒954-01 " 今町 1-19-6	(02586) 6-2313	小林 与吉 石田 新作	(2) (1)	S	394	36				○	×
村 上 市 央	〒958 村上市三之町 2-33	(02545) 3-2446	○滝波 善助	(5) (5)	R	2,836	33		×	30	○	

公民館名 「公民館」 省 略	〒 所 在 地	電 話 番 号	館 長 名	職 員 数 (常勤数)	施 設		分館数	公加 振連盟	公月 民館報	月 公 民 刊 館	總保 合 換
					構造	延面積 建築 年度					
村上市 岩船地区	〒958 村上市大字岩船2120-4	(02545) 6-7071	竹内 康男 施 隆	2 (1)	R	698	52				×
〃 瀬波地区	〒958 〃 大字瀬波771-1	(02545) 3-2005	小嶋 健二 相 馬 正 喜	2 (1)	W	44					×
〃 山 辺 里 区	〒958 〃 大字山辺里181	(02545) 3-2508	吉田 三郎 佐 藤 正 榮 治	2 (1)	W	381	43				×
〃 上 海 府 区	〒959-35 〃 大字柏尾2812-2	(02545) 8-2001	佐藤 梯吉 長 研 一	2 (1)	R	365	53				×
〃 燕 中 央	〒959-12 燕市水道町1-3-28	(02566) 3-7001	○高橋 富栄	11 (11)	R	2,083	48	○	80	○	
〃 小 池	〒959-12 〃 大字杉名800	(02566) 4-2202	近藤 静男 中 林 久 三 郎	3 (1)	W	276	38				×
〃 小 中 川	〒959-12 〃 大字又新1115	(02566) 2-3902	関根 修司 佐 藤 真 一	3 (1)	S	412	54				×
〃 松 長	〒959-12 〃 大字長所4529	(02566) 2-3903	青柳 正二 高 波 平 三 郎	3 (1)	W	321	46				×
〃 川 前	〒959-12 〃 大字四ツ屋112-1	(02566) 3-9310	星野 虎夫 内 山 ミヨシ	3 (1)	W	328	50				×
〃 栃 尾 市	〒940-02 栃尾市本町6-2	(02585) 2-2020	菊池 政次 諸 橋 茂 雄	12 (5)	W	666	34	(8) ○	62	○	×
〃 糸 魚 川 中 央	〒941 糸魚川市横町871-1	(02555) 2-0002	山田 緑郎 田 木 久 男	5 (2)	R	918	43	○	90	○	
〃 浦 本	〒941 〃 大字中浜246-1	(02555) 5-2503	倉又 潔三 石 田 昭 三	2 (1)	W	244	39				×
〃 下 早 川	〒941 〃 大字日光寺204-1	(02555) 5-2704	藤田 正一 斎 藤 敏 雄	2 (1)	R	513	50				×
〃 上 早 川	〒949-12 〃 大字土塩1265-22	(02555) 2	白石 藤六 中 村 正 美	2 (1)	W	233	28				×
〃 大 和 川	〒949-11 〃 大字大和川365-1	(02555) 2-3101	金子 貢男 原 義 一	2 (1)	W	157	大正5				×
〃 西 海	〒941 〃 大字水保71-5	(02555) 2-0268	倉又 一満 松 沢 正 男	2 (1)	W	76	42				×
〃 大 野	〒941 〃 大字大野2039-1	(02555) 2-0095	中沢 久三郎 内 山 時 夫	2 (1)	W	151	7				×
〃 小 滝	〒941 〃 大字小滝10802	(02555) 2	中村 得龍 北 村 秀 成	2 (1)	W	139	28				×
〃 今 井	〒941 〃 大字中谷内661-1	(02555) 2-3100	丸山 星雄 内 山 時 夫	2 (1)	W	997	47				×
〃 根 知	〒941 〃 大字蒲池272-2	(02555) 2	上野 月宗 山 崎 信 一	2 (1)	W	188	30				×
〃 新 井 市	〒944 新井市白山町4-1-20	(02557) 2-3600	○小鳥 勲	6 (6)	R~S	719	44	(6) ○	33	○	×
〃 南 支 館	〒944-02 〃 大字小原新田584	(02557) 5-2220	○宮本 勝美	2 (2)	R~S	597	47	(5) ○			×
〃 五 泉 市	〒959-16 五泉市旭町7-11	(02504) 2-5196	○渡辺 由夫	5 (5)	R	103	44	○	35	○	×
〃 川 東	〒959-16 〃 大字中川新243	(02504) 2-3579	目黒 政次郎	2 (0)	R	69	43				×
〃 菓 本	〒959-16 〃 大字論瀬5901	(02504) 2-4076	二瓶 源太郎	2 (0)	W	63	34				×
〃 橋 田	〒959-16 〃 大字橋田丙524	(02504) 2-2705	松沢 沢然	2 ()	W	63	33				×

公民館名 「公民館」 省略	〒所在地	電話 番 号	館 長 名	職 員 数	常 勤 数	施 設			分 館 数	公 加 振 連 盟	公 月 民 館 報	月 民 館 刊	総 保 合 險
						構 造	延 面 積	建 築 年 度					
両津市	〒952 両津市大字梅津2314	(02592) 7-4181	高 橋 啓 之 萩 野 由 之	8 (7)		R	2,267	47	50 (50)	○	80	○	○
白根市	〒950-12 白根市大字白根1372	(0253) 73-3171	橋 島 定 治	4 (3)		R	593	33		○	15	○	
〃 飯 田 区 新 地	〒950-14 〃 大字新飯田1060	(025374) 2001	滝 沢 宏 也 本 名 達	3 (1)		W	152	8				×	
〃 茨 曾 根 区 茨 地	〒950-14 〃 大字茨曾根3443	(025375) 2035	深 沢 謙 次 力 里 見	3 (1)		R	423	53				×	
〃 庄 瀬 地 区	〒950-12 〃 大字庄瀬6489	(0253) 72-2901	金 内 与 一 郎	3 (0)		R	513	52				×	
〃 小 林 地 区	〒950-12 〃 大字下楯390	(0253) 72-3033	小 林 金 作	3 (0)		W	64	25	1 (1)			×	
〃 白 根 地 区	〒950-12 〃 大字白根1372	(0253) 73-3171	狩 谷 松 雄	3 (0)		R	593	33				×	
〃 白 井 地 区	〒950-12 〃 大字白井1194	(0253) 73-5018	羽 生 藤 久 可 一 新 田 伍	3 (1)		W	29	30	1 (1)			×	
〃 鷺 巻 地 区	〒950-12 〃 大字笠巻新田270	(0253) 62-5711	成 沢 素 明 吉 真 柄 寅	3 (1)		W	50	23				×	
〃 大 郷 地 区	〒950-12 〃 大字大郷新田751	(0252) 80-2043	片 桐 一 二 田 辺 唯 一	3 (1)		W	66	18				×	
〃 根 岸 地 区	〒950-12 〃 大字山崎與野219	(0253) 73-3029	樋 口 左 忠	3 ()		W	96	48				×	
豊 栄 市 中 央	〒950-33 豊栄市東栄町1-1-15	(02538) 7-2014	○小 池 正 守	8 (7)		R	1,634	52	18	○	42	○	×
〃 木 崎	〒950-32 〃 内島見537	(02538) 7-3351	○鈴 木 清 之	2 (2)		W	472	48	11			×	×
〃 岡 方	〒950-33 〃 長戸呂158-1	(02538) 7-3331	○飯 島 盛 雄	2 (2)		W	414	50	13			×	×
〃 長 浦	〒950-33 〃 長場3616	(02538) 7-2061	○林 俊 郎	2 (2)		W	444	49	15			×	×
〃 早 通	〒950-32 〃 早通南1-1418-1	(02538) 6-3339	○上 村 寛	2 (2)		W	138	49	3			×	×
安 田 町 中 央	〒959-22 北蒲原郡安田町大字保田 4807	(025068) 3006	山 際 純 彦 山 本 勝	6 (5)		R	1,614	49		○	10	○	×
京ヶ瀬村	〒959-21 〃 京ヶ瀬村大字 姥ヶ橋672	(025067) 2111	五 上 藤 一 郎 男 吉 川 康	4 (2)		R	513	44		○	25	○	
水 原 町	〒959-21 〃 水原町山口町 1-2-14	(02506) 2-2028	○萩 莊 勝	10 (8)		R	1,753	53	2	○	25	○	×
笹 神 村	〒959-21 〃 笹神村大字 山倉1238-2	(02506) 2-2205	小 篠 榮 三 生 野 弘	6 (4)		W	332	36		×	20	○	
豊 浦 町	〒959-23 〃 豊浦町大字 大伝491	(02542) 2-2081	小 池 直 臣 隆 清 治	5 (4)		W	4,001	22		○	36	○	
聖 籠 町	〒957-01 〃 聖籠町大字 諏訪山苔沼1636-3	(02542) 7-2352	○水 戸 部 正	6 (5)		R~S	1,526	46		×	15	○	×
加 治 川 村	〒959-24 〃 加治川村大字 住田-547-1	(025433) 2433	○平 野 利 夫	5 (5)		R	813	46		○	21	○	×
祭 雲 寺 町	〒957-02 〃 祭雲寺町大字 稲荷岡2371	(025442) 3111	関 清 衛 忠 会 田	7 (5)		W	1,020	3		○	30	○	×
中 条 町 中 央	〒959-26 〃 中条町東本町 16-66	(02544) 2-2001 3-3471	○中 倉 誠 一	6 (4)		R	633	35		○	16	○	×
〃 乙 地 区	〒959-29 〃 〃 大字乙 1157	(02544) 6-2101	花 野 貫 一 樹 本 間 正	3 (1)		R	1,375	47				×	×

あの頃のこと

戦後の青年たちと 建部利彦

建部利彦

昭和二十年九月十四日、横越村たらって小学校の先生や、学校出足のばた。

社(曹)の夜、艦ヶ浦海軍航空の人々を講師として週一回俱樂部(集会所)にあつまつて、ローマ字の勉強や、時事問題、電気の知った私は後三丁教村を離れることなく現在刻にいます。

昭和二十一年、二年頃であつたと思ふ。横越村大字横越中部落の青年会、成中会に入会した。

この成中会は村四十の単位附のついであつたが会員数は八十名名程いたと思ふ。

新入会員紹介の日、私は入会の挨拶を二席やつたが異例のことであつた。かゝる会に入つたものだと受取られた。

青年会の実情は、経営青年会、その他は資金かきまの努力奉仕事業、農家休日の手配、農休日

文化部に所属した者は仲間をか

大会終、後校場の二階で反省会をかねて慰労会が行われた。

この事で村内の青年の知り合いが多くなつた。青年会も村一本の連合青年会の気遣も非常に高まつた。酒のない時代でその調達の苦

農家の男子青年はもよりの農家の作業場に乗ってラジオ品をやるのが農閑期の口福であつたが、女子青年や若い会員にはこの夜学会はなかりうけたように記憶している。

軍国主義否定、民主主義の標榜時代であつたから学習課題にはこゝろがなかつたが、どの様な内容であつたかわく憶えていないのはどうした事だろう。

戦前であつた青年の陸上競技大会を復活しようといふこと、横越小学校のグラウンドで野球をやつて毎日毎日全員で選手にならないうちに全員参加がまゝで練習したものである。村四小学校区で夫々予選会をやり村大会を開催した。私は大会事務局、用具の調達や審判の依頼、相撲の行司さん探しとその依頼で亀田町にも

生涯教育は理論ではだめだ

小畑 勇二郎 著

秋田の生涯教育

一九四七年八月十日
此処に戦後第一回横越村連合青年会体育大会の開催せられるに当り、平和日本、民主主義日本再建の熱意に燃ゆる横越村青年会員の熱意により選抜せられた。我等選手は公明正大なるスポーツ精神を堅持し更に之を昂揚し、競技は総てフェアプレーを旨とする。我等は日頃練習したる我等の力量を遺憾なく發揮し、勝つて驕らざりて悔なく終始戦士し、日本再建の源動力たる青年、次代を担う我等青年の意気を中外に誇示する。

一、我等は常に公明正大である。二、我等は青年の名に於て終始戦士する。右宣誓す。

は四小学校区毎で予選会をやって旧横越小学校の室内運動場で村大会をやり郡大会に出場したりした。又村の右識者に御出席を願ひ「これからの横越村を語る」会など青年会主催で開催したりした。今思ふはパネルディスカッションのはしりのようなものである。

生涯教育が公式に討議主題となつた1966年以來、わが国においても、理論の研究がさかんになつてきたが、著者は全国にさきがけて生教育の実践活動の推進をはかり、「秋田の生涯教育」という一つのゆるぎない体系をつくりあげた。

生涯教育の提唱／生涯教育のすすめ／生涯教育とは／生涯教育を進める機構／生涯教育の体系化／生涯教育と学校教育／生涯教育と公民館・図書館・博物館等／いろいろの事業を通して／盛り上がる力／今後の課題／その他

・本書を手にした人は、「実力家の課長や部長にボンと肩をたたかれたように、啓発されたようになるだろう」ということはいわゆる読みごたえがあることだ(お茶の水女子大学教授 森 隆夫)
申込先 〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会 (ETL 0252-24-6073)

あとがき

編者は夏の盛りに生まれたせいか、暑さは平気な方です。冷房のきいた部屋にいて体調がおかしくなり、堪えられない苦痛を感じるほどです。ところが、人それぞれ好みがあるところ、冷房のききかたといつては、不平をいう人もいます。

夏の盛りに、汗がひびくほどどろどろと汗ばみながら仕事ができることを「雨あつた」と言われるか、「おどろ」と言われるか。あるいはまた「無駄」と嘆息するか。あるいはまた「無駄」と嘆息するかは、人それぞれの日頃の生き方がいかに影響するところだと思ひます。(本)

執筆者紹介
建部さんは、日本の社会学の泰斗で元東大教授・貴族院議員・建部吾博士の御曹子である。歴戦の海軍パイロットであつたが終戦とともにいかにうして生きのこり村に帰つた。長年横越村公民館理事として敬愛される、村総務部長、助役として現在も活躍中。